



ふんしんせいき

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.23

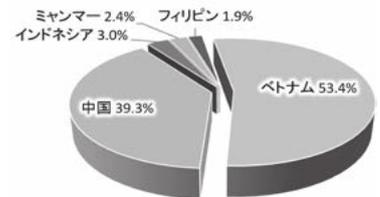
2017年3月発行

外国人技能実習生の増加と求められる多文化共生意識

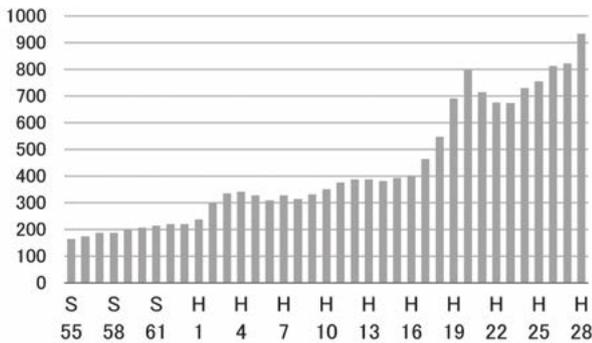


◀ 国際交流サロンの日曜日の教室は、技能実習生の皆さんでいっぱいになります。写真は、テーマをもとに日本人サポーターと学習者たちが、自由に会話をすることで、自主的な発話を促す“わいわいカフェ”。この日は「ちょこっと日本食試食会」と題して、梅干しや納豆、赤飯、らっきょうなど、日本に住んでいても買ったことがない、でも食べてみたい食べ物に挑戦し、感想を話し合いました。

在留資格「技能実習」における白山市在留外国人国籍別構成比(平成28年末)



白山市の外国人住民数推移



C・O・N・T・E・N・T・S

- 特集 求められる多文化共生意識 1 ~ 2
- H.I.A トピックス 国際交流運動会・姉妹都市グリーンティングカード交換事業 3
- 国際交流サロンのページ 4 ~ 6
- H.I.A だより 7
- H.I.A からのお知らせ 8

白山市の外国人住民数は、平成28年12月末で933人です。バブル前の昭和60年の207人(合併前の市町村データの合計)から4.5倍に増えています。増加の大きなきっかけになったのが、平成2年に施行された改正入管法により日系ブラジル人やペルー人が「定住者」として入国が許可されたことです。日系人から少し遅れて受け入れが始まったのが、平成5年に制度化された技能実習生です。目的は、「途上国への技能等の移転」です。本市においては、外国人住民全体の6割が技能実習生であり、彼らの増加が全体の外国人住民数を押し上げています。技能実習生の国籍別は、以前は、中国が中心でしたが、ここ数年は、ベトナムが半数以上を占めています。政府は、昨年11月、現行3年の実習期間を、今後、優良な事業者に限っては5年とする見直しや対象の職種に「介護」を追加する方針の法律を可決するなど、外国人技能実習生が今後さらに増えてくるものと思われます。

国籍が違っても、同じ地域に住む住民として、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、ともに生きていく多文化共生の意識が一層、私達に求められています。

特集

求められる多文化共生意識

国際交流サロンに日本語学習のために通う実習生に日本の感想と将来の夢をお聞きしました。また、彼ら技能実習生たちをサポートする人たちの輪がサロンを中心に広がっており、併せてご紹介します。

グエン ティ ミングエットさん

(ベトナム出身)千代野東

日本に来た時、道にゴミ箱がないのにきれいなのでびっくりしました。ゴミは家に持って帰っていることに気が付きました。日本の家の周りには緑があり、日本とベトナムの花は違うので見ていて楽しいです。歩いていると車が止まってくれたり、「すみません」「ありがとう」とよく言ったり日本人は親切です。会社の人達はよく働きます。でも働きすぎかなと思う時もあります。将来はお花を育てて売る仕事をするのが夢です。



趙娜さん

(中国出身)宮永市町

私は中国でも日本の企業で働き、日本語を勉強していました。日本語は難しいですが、面白く、もっと上手になりたいです。仕事が忙しくて勉強をする時間はなかったのですが、日本語能力試験のN2に合格できました。今度はN1を目指します。日本人は礼儀正しいと思います。帰国したら、通訳とか日本語を使う仕事をしたいと思っています。



ムハマド アリバティンさん

(インドネシア出身)手取町

日本へ来た時、町がとてもきれいで驚きました。電車もきれいで、ちゃんと並んで乗るのに驚きました。日本人は規則を守ります。会社は安全で確認を大事にしています。日本語は難しいですが面白いです。将来は母国の日本の会社で働きたいです。それがだめなら日本でもう一度働きたいですがそれは無理なことでしょう。



技能実習生に日本語を教えている 日本語サポーター

崎川 栄治 さん(相木町)



日本語から 日本の文化を学ぶ

技能実習生は、基本的には日本語の初級を学んだ後、企業に配属されています。

彼らは休日になると、日本語の上達を目指してサロンにやってきますが、ときとしてサロンは彼らの相談窓口になったり、コミュニケーションや情報交換、さらには息抜き場になったりもします。

日本語から日本の文化を学ぶ。日本語サポーターもまた彼らの文化を知る。双方向の交流から、ひとりでも多くの実習生が、日本や日本人のファンになって帰国することを願っています。

ほとんどの実習生は、働きながら借金を返し、家族に送りし、日々の生活を送りながら貯金しています。彼らの背景を知れば、また違った目で彼らを見ることができると思います。

技能実習生の受け入れ先

株式会社 三興電機製作所(横江町)
管理部 押田 周次 さん



日本で学んだ経験を 生かしてほしい

当社ではベトナム実習生5名が働いており、毎週、国際交流サロンでの日本語教室を楽しみにしています。サロンで読み書きや難しい漢字を学んだこと、会話クラスでは、日本人ともっと話をして日本語が上手になりたいと言っています。

日本の生活習慣や冬の寒さにも慣れたようで安心しています。感心なことに、朝の「おはようございます」や帰宅時の「お疲れ様でした」の挨拶を欠かしません。帰国後には、日本で学んだ技術や経験が現地での仕事に生かされ、白山市で過ごした日々が彼らの人生の良い思い出となるよう頑張してほしいと思っています。

技能実習生の帰国後の就活を応援する団体 「エーパック・エイチアール」(白山市) ホーチミンからテレビ電話で講演

日本に在留する技能実習生の帰国後の就職を支援する白山市の市民団体「エーパック・エイチアール」が昨年12月18日、国際交流サロンで「帰国後の就職を考えるセミナー」を開催しました。当サロンで日本語を学習するベトナム人技能実習生7人が参加したセミナーでは、ベトナム・ホーチミンの人材紹介会社に勤める吉川真人さんが、インターネット回線を通じ、都市部の求人状況や日系企業の求める人材等について説明しました。まもなく帰国を予定している実習生たちは、熱心に吉川さんに質問し、履歴書の書き方や、面接時のアドバイスを受け、現地での日系企業への就職に目を輝かせていました。



▲国際交流サロンで行われた就活セミナー代表の高橋斉さん(写真左)は、「せっかく培った実習生の技術や高い日本語能力を、帰国後、現地の石川の産業に生かし、それぞれの母国から石川を発信してくれる人材になってもらいたい」と話していました。

10月2日、協会主催で若宮体育館にて国際交流運動会を行いました。これは共生交流事業部会が今年初めて企画し、外国人と協会員合わせて80名以上が参加しました。赤組と白組2チームに分かれて、借り物競争、障害物パン食い競争、スプーンリレー、デカパンリレー、玉入れを行い、競技も応援も大変盛り上がりしました。運動会を初めて経験する参加者もあり、みんなで一緒に汗を流し、とても良い交流となりました。



◀みんな揃って準備体操。ケガ予防に欠かせません。



▶パン食い競争に大苦戦！焦らずおちついて



▲玉入れうまくできるかな？



▲記念撮影。お疲れさまでした。

姉妹都市の友達とクリスマスカード交換！

姉妹都市交流事業の一環で、今年初めて、白山市と海外の姉妹都市（5ヶ国5都市）の小学生が手作りのカードを交換しあいました。参加したのは、松陽小学校と朝日小学校の6年生計136名で、児童たちは英語で、自己紹介や「好きなスポーツは何ですか？」といった質問を書いて送りました。クリスマス前には、一人ひとりに質問の答えが書かれたカードが姉妹都市の友達から届き、生徒に手渡されました。



◀松陽小学校でのカード作成の様子。ツリーの絵を描いたり、折り鶴を貼ったりして、オリジナルのカードを作りました。

▼白山市生徒のカード



▲英国ボストン町から届いたカード



▲最初にALTによる海外のカード文化について紹介

▶返事のカードを受け取った朝日小学校の生徒たち。「文通相手になってください」と書かれたものもありました。





“サロンのページ”

白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間 9:15～18:00
休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
場所 〒924-0872 白山市古城町2（松任図書館向かい、松任文化会館横）
TEL/FAX 076-274-3371
E-mail misalon@asagaotv.ne.jp
H P <http://www.asagaotv.ne.jp/~misalon/index.html>
 Facebookで、日々のサロンの様子をアップしています！ぜひご覧ください！
 （サロンHPからもFacebookへ入れます）

日本語部会

わいわいカフェ

1月15日(日) 毎月第3日曜日

今月のテーマは「今年の抱負」「慣用句を使ってみよう」です。雪が降る寒～い日でしたが、今年最初のわいわいカフェでたくさんお話をしました。

最初に「慣用句」を使ってお話し、「顔が広い」「鼻が高い」「腹が立つ」「耳が痛い」・・・これが使えたら日本語が上手になった気分？！

次に今年の抱負を話し、絵馬に書き、みんなの前で発表しました。「お金をかせぎたい」「恋人がほしい」「N2に合格したい」「また日本に戻ってきたい」など。皆さんの素敵な抱負が叶いますように、今年も良い1年でありますようにと願います。

最後に、もうすぐ帰国のため挨拶に来てくれた実習生のクイさん、スアンさんと記念撮影。「ベトナムに帰っても日本語忘れないでね。お元気で！」



金沢大学国際機構留学生センター 日本語授業見学

1月18日(水)

どんな方法で学習者に指導したら効率的？ どうしたら日本語が上手になる？ それはいつも日本語サポーターが考えていること。「日本語指導の専門の大学での指導を見てみたい！」その声に大学が応えてくださり、15名で出かけてきました。3つのグループに分かれて、それぞれ2クラスを見学しました。一人一人の学生をよく見て、理解度を把握しながら、進められる授業は読む、書く、聞く、話すの四技能が取り入れられ、とても参考になりました。広いキャンパス、大勢の学生にも戸惑いながら、刺激の多い有意義な見学会となりました。



▲初級クラスの様子。テキストは「みんなの日本語」でした。

日本語部会 & 共生交流部会

安楽庵で本格茶道の体験

10月16日(日)

松任総合運動公園内にある茶室「安楽庵」で、浴衣を着ての茶道の体験をしました。参加者は今年来日した技能実習生やALTが多く、初めての茶道に興味深々でした。最初に茶道の先生のお点前を見学し、その後は、亭主役と客役を体験しました。小間拝見では本当の茶室の見学。刀を持っては入れない小さな入り口から上手に入り、「茶道の心」のお話しも聞きました。公園の紅葉をバックに写真撮影！小春日和の秋の日、日本文化を五感で感じた1日となりました。



▲初めての浴衣体験。脱ぎたくないという人も。



▲着付けをしていたサポーターさん達は汗びしょりになりました！

共生交流部会

バス研修

11月13日(日)

「白山市の魅力を変えて知ろう!」と、バス研修に出かけました。行き先は、白山比咩神社、昆虫館、浅野太鼓です。白山比咩神社では、何度も来ているけど、表参道から入るのは初めて、こんな綺麗な道があったなんて!と感動する人も。浅野太鼓では、日本語サポーターでもある岡田千里さんに指導して頂きました。息の合った演奏をするのは難しかったですが、太鼓が一番楽しかった!という声も。お天気もよく、紅葉も見頃で、白山市の魅力再発見の旅となりました。



▲昆虫館前でパチリ!

雪遊び

2月5日(日)

雪遊びに、白峰地域へ行きました。同じ市内でもこんなに雪の量が違うのかととても驚いた様子。初めて、日本で冬を過ごすベトナム人実習生は雪に大喜びでした。雨が降り、寒い日でしたが、ソリ滑りや雪だるまを作って楽しみました。帰りには雪だるままつりのあとを見学しました。雨で溶けている雪だるまもありましたが、たくさんの雪だるまキャラクターに大興奮!写真もたくさん撮って帰ってきました。



▲大人も子どももソリに乗って大はしゃぎ!

国際理解部会

世界の料理教室 イタリア料理 11月20日(日)

イタリア人の父を持つ、アメリカ人のアンドリュー・プリンシペさんが講師となり、独自のアレンジが加わったハマス、パンプキンラビオリ、ペストソースパスタを作りました。少しだけ英語も取り入れながら、アンドリューさんのエピソードや料理のポイントなども聞きました。日曜開催という事もあり、男性や小学生の参加も多く、アンドリューさんの明るく気さくな雰囲気の中で、料理を通じた交流が深まりました。



▲彼の学生時代に自ら考案した安くておいしいパスタ料理

ハロウィンデー

10月22日(土)

松任図書館、松任児童館との合同で毎年恒例のハロウィンを行いました。子どもたちは児童館で「ゴーストハウスバッグ」を作り、ハロウィンの英語絵本読み聞かせを聞き、サロンからの仮装パレードに出かけました。

駅前パレードでは、スタンプラリー形式で各ポイント地点の文化施設で外国人からシールとキャンディーをもらいました。パレード後は、ALTとゲームタイム!トイレットペーパーでぐるぐる巻きにするミイラゲームなど、体験したことのないゲームに子供たちもとても楽しそうでした。



▲ピニャータを叩き割るとお菓子が出ました♪

通訳翻訳部会

ABCの会&ハローリトルワールド

毎月第2土曜日に行っているABCの会と、毎月第3水曜日に行っているハローリトルワールド。ALTやフィリピンママの皆さんが英語絵本の読み聞かせを行っています。毎回、明るい雰囲気、子どもたちだけでなく、ママやパパの皆さんも楽しみにしています。先日のハローリトルワールドでは、「金太郎」の英語版を、フィリピン人の早崎クリスティーナさん親子が読み聞かせしてくれました。その際に、参加したママから、「フィリピンにも鬼はいますか?」という質問があり、フィリピン版の妖怪?やお化けの話に盛り上がりました。絵本の読み聞かせだけでなく、異文化交流も楽しみの一つです。

部会では、これらの絵本読み聞かせの外国人たちのお手伝いしてくださる日本人ボランティアを募集しています!



◀ABCの会の様子



▶ハローリトルワールドの様子

国際交流広場

○公民館行事に参加しました！

11月19日(土)

林中公民館主催の「韓国料理をいろいろな国の人と一緒に作ろう」をテーマとした国際交流クッキングに、サロンからベトナム、カナダ、台湾出身の外国人が参加しました。韓国出身の先生から、韓国海苔巻きやブルコギを教えてもらい、子供たちと一緒に韓国料理を楽しみました。普段、日本の子どもたちとなかなか触れ合う機会の少ないベトナム人実習生にとっては、特に貴重な体験となりました。



○“きんきん”からの便り

3年間、中国人技能実習生として白山市で過ごした“きんきん”さんが母国に帰国されて1年。中国で活躍する彼女からサロンに近況報告のメールが届きました。



ディアオキンキン
本名 刁 欣欣
中国大連市出身
2014～2017
技能実習生として
本市に滞在

旧正月明けとともに、春も密かに訪れて来ています。日本から帰って間も無く一年になります。周りの景色、食べ物、街並みの中に日本語の看板が全部中国語に一変したなど、大連の生活に慣れるのに少し時間がかかりました。中国に帰ってすぐ中国の輸出貿易会社に日本業務担当として就職しました。最初は専門知識に慣れなかったり、ビジネスメールをちゃんと書けなかったり失敗ばかりでした。

また、日系企業で覚えた仕事のやり方が中国企業で通じないところがあることに気付きました。例えば、クレームの対応について日本の文化はまず謝る所から始まります。それに対して中国企業は謝るよりまず責任を追求する傾向があります。橋渡しが役目の私としては日中双方がコミュニケーションを正しく取ることがいかに大切なのか、深く認識しました。日本語はまだ日本人の比ではありませんが、仕事にもだんだん慣れ、同席通訳の際にお客さんから「日本語上手ですね」と言われる時、これ以上の励ましの言葉はないです！おかげさまで、今年仕事で日本に行けるかもしれません。これから頑張り続ければ日中友好関係事業に自分の力でもっと貢献できると思います。国際交流サロンのみなさんとの再会を楽しみにしています！

(原文まま)

サロントピックス

Amazing Japan!!

外国に行った時、または、習慣や文化を聞いた時、様々なことに驚いたり、感心したりしたことありませんか？

市のALTのみなさんとサロンで話していると、日本に来て驚いたことをたくさん話してくれます！

その一部をみなさんにご紹介します♪

★友達と北陸新幹線に乗って東京へ行ったとき、座席を回転して向かい合わせに座れることを知りました。アメリカの電車にはそのような仕組みが無いのでとても驚きました。あと、布団カバーの内側に紐がついていて、布団とカバーがずれないようになっていますごい！（アメリカ出身 リア）

★日本の小学生が子供だけで歩いて学校へ行っている！給食のお皿やお椀の位置が決まっているのがおもしろい。日本の寮に住んでいた時、朝ごはんはスパゲッティとごはんが出ました！（アメリカ出身 ジャッキー）

★日本の学校の黒板はマグネットが使えます！道のスプリンクラー（融雪装置）がすごい！（アメリカ出身 ジョナ）

友だちの輪

(外国人市民を紹介するコーナーです)

チョウシュクビン
張 淑敏さん (中国出身)

中国から来た張淑敏と申します。結婚で日本に来て、今年で4年になります。

2016年3月に子供が産まれました。子育ては大変ですが、楽しい面もあります。

サロンの方々とは親しくお付き合いさせて頂き、たくさん勉強させていただいています。心より感謝しております。



日本で友達をたくさんつくって、幸せな生活を送りたいと思います。これからもっと頑張るので、皆さまよろしくお願ひ致します。

H.I.A. だより

ラウンハイム市トーマス・ユーヘ市長一行来市

10月31日(月)～11月2日(水)

友好都市のドイツ・ラウンハイム市より、トーマス・ユーヘ市長と担当市職員等の3名が本市を訪問しました。山田市長との懇談でユーヘ市長は、都市間ネットワーク構想について提案し、今後検討していくこととしました。

ライン博士顕彰会との交流では、ゆかりのある白峰地域を訪れ、白峰保育園や重伝建地区の視察、顕彰会主催の夕食会を開催するなど、交流を深めました。

来年、旧白峰村からの友好都市提携20周年を迎えることから、ラウンハイム市への招待を受けました。



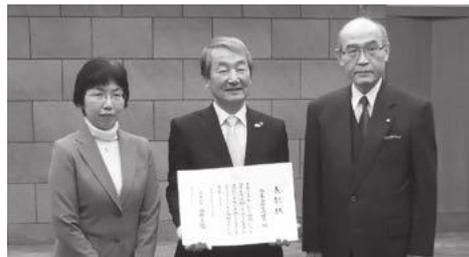
◀山田市長を表彰訪問したトーマス・ユーヘ市長(左から2人目)

協会が県国際交流・協力功労者表彰を受賞

1月24日(火)

平成28年度の県国際交流・協力功労者に、本協会が団体の部で受賞しました。受賞の大きな理由として、15年にわたる「国際交流サロン」を拠点とした草の根活動や国際交流サポーター派遣制度の実績等が高く評価され、受賞の運びとなりました。

表彰式には、福田裕会長と協会職員角田雅子さんが出席し、谷本知事より賞状が授与されました。福田会長は、「長年の市民ボランティアの皆さんの活動の賜物」と喜びを表わしていました。



◀谷本知事と記念撮影する福田会長(中央)と角田雅子さん(左)

協会役員と市議会産業建設常任委員会が意見交換会

11月4日(金)

産業建設常任委員会に所属する7名の市議会議員と協会役員が、市の国際交流の現状と課題について話し合いました。

協会からは福田会長以下役員の方々の他、外国人住民代表として、中国出身の米田さんと裕暁玲さんが出席し、外国人視点からの意見も出されました。議員の方々に、国際交流サロンを中心とする協会の活動事業や在住外国人の状況について理解を深めてもらう良い機会となりました。



▶お二人の外国人住民も参加

年忘れ！国際交流の集い

12月11日(日)

今年は9カ国81名の外国人の方々と協会員等、総勢162名が参加しました。アトラクションでは、市ALTが子どもたちと一緒に「チキン・ダンス」を踊ったり、毎年恒例の外国人参加者による「着物ショー」や日本語スピーチなど盛りだくさんの内容でした。フィナーレは、おそろいのTシャツを着たベトナム人実習生による「Rua Tay(手洗いダンス)」を会場全員で踊りました。



▲息ぴったりなダンスを披露したベトナム実習生たち。彼らはこの日のために、秋から松任城址公園で練習をしていました。

留学生が雪かきボランティアで地域貢献

1月28日(土)

毎年、白山市社会福祉協議会が実施している「雪かきボランティア体験」に、今年は当協会が留学生を募集し、桑島地区の雪かきボランティアに、留学生を引率しました。参加したのは、金沢大学や北陸先端大学院大学の中国、インドネシア、ネパール、バングラデシュ、カンボジア出身の6名です。留学生たちは1人暮らしのお年寄りの家の前の雪かきを行い、地域の皆さんの役に立ったことをとても喜んでいました。その後は、夜に開催の雪だるままつりのための雪だるまづくりにも挑戦し、白山市をたっぷり体感した1日となりました。



▲雪かきに精を出す留学生の皆さん



▲雪だるま作りの様子。中にろうそくを入れ、夕方ライトアップをしました。



▲白山ろく民俗資料館でいろりを囲みながら地域の皆さんと交流しました。

H.I.A.からのお知らせ

平成28年度会費を納めていただいた特別会員(企業・団体)の皆さんです。厚くお礼を申し上げます。(敬称略、50音順)

No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称
1	(株)あさがおテレビ	19	鶴来ライオンズクラブ	37	白山市文化協会
2	(株)浅野太鼓楽器店	20	手取川七ヶ用水土地改良区	38	白山市ロシア協会
3	(有)印刷のシコー	21	(有)東栄工業	39	白山青年会議所
4	石川情報交流事業協同組合	22	(株)トスマク・アイ	40	白山ロータリークラブ
5	医療法人社団 白山会	23	東武トップツアーズ(株)金沢支店	41	(株)羽田合金
6	(株)EIZO	24	トリップ age	42	(有)フジタ印刷
7	(株)エヌティエル	25	中村留精密工業(株)	43	(株)北國銀行松任支店
8	学校法人 金城大学短期大学部	26	ニッコー(株)	44	前田印刷(株)
9	協和道路(株)	27	(株)日本旅行 金沢支店	45	(株)松建
10	グランドホテル白山	28	能登印刷(株)	46	松任市農業協同組合
11	合同会社 輝け白山	29	白山石川ロータリークラブ	47	松任土地改良区
12	(株)三光製作所	30	白山商工会	48	松任ライオンズクラブ
13	(株)三興電機製作所	31	白山市管工事協同組合	49	(株)マップ
14	(株)車多酒造	32	白山市北消防団	50	美川商工会
15	(株)スノーエリアマネジメント白山	33	白山商工会議所	51	美川ライオンズクラブ
16	千代野建設(株)	34	白山市体育協会	52	(株)メープルハウス
17	(有)ツクダ自動車	35	白山市町会連合会	53	ワコー食品工業株式会社
18	鶴来商工会	36	白山市日本中国友好協会		

以上53社(団体)

ALT×学生セッション

学校で習った英語を実際に使ってみよう! 学校帰りにALTの先生たちと英語でおしゃべりしませんか? トークテーマは何でもOK! ぜひ友達を誘って参加してください。

日 時: 3月15日(水) 16:30~17:30

場 所: 国際交流サロン 対 象: 中高生

【問い合わせ】国際交流サロン TEL 274-3371

オーストラリア・ペンリス市派遣高校生募集

対 象: 市内在住の高校1・2年生(H29年夏の派遣時)

期 間: 平成29年7月24日(月)~8月4日(金)
11泊12日(うち、ペンリス市でのホームステイ9泊、シドニー市1泊ほか)

定 員: 15名

申し込み期間: 3月29日(水)~4月17日(月)

募集説明会

日時: 3月28日(火) 19:00~ 場所: 市民交流センター

【お問い合わせ】国際交流室 TEL 274-9520

姉妹都市から中学生が来市します

昨年夏に本市の中高生がホームステイでお世話になった英国ボストン町、中国瀋陽市から、中学生が白山市にやってきます。

●イギリス・ボストン町

来市期間: 7月16日(日)~26日(水) 10泊11日

来市人数: 15名(引率者3名、中学生12名)

本訪問団と共に、長年ホームステイプログラムをお世話いただいているディビット・スクート、トレイシー夫妻も来市します。

●中国・瀋陽市

来市期間: 8月上旬(予定)

来市人数: 12名(中学生10名、引率者2名)

はくさんキッズ英語スクール参加者募集!

市のALTが講師となり、クッキング、サイエンスやダンスの授業を通して、楽しく学びながら英語を学びます。

対 象: 市内の小学5・6年生(3月時点)

定 員: 50名(応募者多数の場合は抽選)

日 時: 3月27日(月) 午前9時~午後5時30分

場 所: 松任総合運動公園体育館

参加料: 2,000円(材料費、保険料等)

※お弁当持参

申し込み締め切り:

3月17日(金)

一緒に楽しく
交流しましょう!



E-mail登録にご協力をお願いします

国際交流サロンでの様子やイベント案内を早くお届けします。ぜひ、ご登録ください。

◆Email登録先: misalon@asagaotv.ne.jp へ、タイトル「E-mail登録希望」で、ご住所・お名前を明記の上、送信ください。

編集後記

サロンで日本語の勉強をする外国人には申込用紙を書いてもらい、顔写真を撮っています。帰国する実習生の申込用紙を見ると、3年前の写真と今が随分変わっていて驚きます。日本で働き、生活することで成長する人が多いのでしょうか。たった3年、されど3年。母国に帰ったあとの彼らの活躍と幸せを祈ります。(サロン)

発行 ■白山市国際交流協会(Hakusan International Association)
事務局 / 白山市役所観光文化部国際交流室 TEL 076-274-9520
白山市国際交流サロン TEL 076-274-3371
E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp (国際交流室)
misalon@asagaotv.ne.jp (国際交流サロン)